

BBCワールドチャンネルによる玄葉大臣インタビュー（報道振り）

●10月19日付BBCワールドチャンネル・番組「インパクト」

【玄葉大臣】国が尖閣を取得・保有するということに様々なことを考えた。ただ、現実的な選択肢はそれしかなかった。今大事なことは、やはり、日中双方ともエスカレートさせてはいけない、そして大局を見失わずに、冷静に対応することである。互恵的な関係にしていくことである。

【プレゼンター】この争いが中国や他の隣国との貿易関係に影響を及ぼさないと日本のビジネスやグローバル・コミュニティに保証することはできるのか。中国はもちろん、貴国の最大の貿易相手である。

【玄葉大臣】日本にとって最大の貿易相手国は、中国である。他方、中国に対して、直接投資を最もしている国、そして、進出企業数が最も多い国は日本である。だから、こういった主権の問題というのは、当然、譲れないものは譲れない、けれども、今申し上げた相互依存関係、互恵的な関係というものを大事にするがために、日中双方は、意思疎通を維持・強化して、自制的に、抑制的に、冷静に対応しなければならない。日中双方とも世界の安定、繁栄、そして平和に厳粛な責任を負っていると思う。